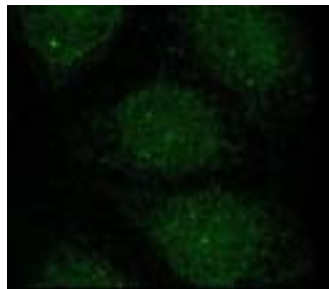


抗ヒト Ajuba ポリクローナル抗体

近年、癌化のメカニズムに関与する分子として、Aurora が注目されています。Aurora ファミリータンパク質は細胞分裂を正確に遂行するのに必須であることが分かってきました。ヒト Aurora-A は多くの癌で過剰発現がみられ、かつ形質転換能を有するセリン・スレオニンキナーゼです。Ajuba は、Aurora-A の自己リン酸化を誘導して Aurora-A の活性化を引き起こす Aurora-A 結合分子であることが見いだされました。今後これらの分子の癌化への関与について解析が進むことが期待されます。

本抗体は、免疫沈降法や免疫細胞染色に使用可能です。

容量	25 μ g (100 μ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2% ブロックエース (安定化蛋白)、0.1% proclin 含有]
保管方法	- 20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は 4 で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ヒト Ajuba のリコンビナントタンパクを免疫して得られたウサギの抗血清より、同部位の His タグタンパクアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	免疫沈降法: 10 μ g/mL 免疫細胞染色: 2 ~ 5 μ g/mL



免疫細胞染色

Sample: HeLa 細胞

提供: 熊本大学 医学部 腫瘍医学講座
佐谷 秀行 先生
広田 亨 先生

抗ヒト Ajuba ポリクローナル抗体

【参考文献】

1. Bischoff JR. et al. : Trends cell Biol. 1999 Nov;9(11):454-9
2. Descamps S. et al. : Sci STKE 2001 Mar 13;2001(73):PE1
3. Goyal RK. et al. : Mol Cell Biol. 1999 Jun;19(6):4379-89
4. Marie H. et al. : Mol Cell Neurosci. 2002 Feb;19(2):152-64

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp